

総合的な学習の時間 (福祉)「手話を覚えて伝えよう」

伊勢原市立緑台小学校



単元(題材)目標

- 手話を使っている人たちについて知り、自分たちにできることを考える。
- 手話を覚えて、みんなに伝える機会を作る。

(1) 実施時期

- ① 2学期 ... ・継続的な学習活動
- ② 3学期 ... ・聴覚障害者協会の講師を招いての活動
・継続的な学習活動
・学習発表会

(2) 対象(学年等・人数)

第4学年 53名 2クラス

(3) 指導者(教諭・外部講師等)

クラス担任
伊勢原市聴覚障害者協会の方々



(4) 実施内容

- ① 「聴覚障がい」や「手話」について調べる
- ② 聴覚障がい者との交流をする
 - ・聴覚障がいについての理解
 - ・手話体験：各学級で手話実践
簡単な会話(あいさつ、名前等) 手話に関する基本的知識
手話における拍手の仕方
- ③ 学んだ事をまとめる
- ④ 「学習発表会」(きつずチャレンジ)で発表する(ポスター発表)
 - ・手話で挨拶「おはよう」「こんにちは」「こんばんは」
 - ・手話で歌おう「ドレミの歌」
 - ・耳の聞こえない人の日常生活(困っていること)を伝えよう



(5) 成果

- 活動を通して、自分たちで学ぼうとする姿勢をもつことができた。
- コミュニケーションツールとしての手話体験を通して、聴覚障がい者に対する理解を深めることができた。
- 手話に興味をもち、手話で簡単な挨拶や自分の名前を伝えられるようになった。

(6) その他

学習と発表を通して、さらに覚えた手話をみんなに伝える機会をもちたいと考えるようになった。